

歯科材料 3 義歯床材料
*一般医療機器 歯科用パターンレジン 「JMDN」 70833000
デュラレー インレー パターン レジン

【禁忌・禁止】

本材及びメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

赤色の粉剤、無色透明の液剤、分離剤及びスポイトによりセットを構成します。

〔原材料〕 粉剤 メタクリル酸メチル重合体
 液剤 メタクリル酸メチル単量体

〔原 理〕 粉剤及び液剤の練和物を窩洞に流し込み、化学重合により窩洞内で硬化した後、この硬化物を埋没、焼却、鋳造を行い、インレー補綴物を製作します。

【使用目的又は効果】

インレー、クラウン等鋳造用パターンの作成に用いるレジンをいう。技工作業の仮着に使用することがある。

【使用方法等】

〔直接法〕

1. 筆積み法

- ①ダッペンングラスに粉剤を少量入れ、別のダッペンングラスに液剤を約 6 滴入れます。
- ②窩洞部をエアード乾燥させ、パターンを外しやすいように分離剤を薄く塗布します。過剰に塗布した部位はブラシで除去します。
- ③小筆を液に浸した後、筆先で球状になるように粉剤をつけます。この時、筆先がグラスに触れないようにして下さい。この混和物を窩洞底面に充填しますが、流動性がない場合には、再度液剤に浸して下さい。
- ④窩洞の底面を丁寧に覆った後、次に大きな筆を用いて同様の手法で混和物を作り、順次窩洞に充填し、筆で歯牙の概形を整えます。
- ⑤パターンが硬化した後（最終築盛後 2 分）咬合をチェックし、口腔内あるいは口腔外で、バー、ディスク、ラバーホイール等を用いて辺縁のトリミングを行い、形態修正を行います。
- ⑥ワックスでスブルーをたて、通法に従って埋没、焼却を行って下さい。デュラレーパターンは 427℃で、40 分加熱すれば、残滓を残さずきれいに輝散します。

2. 練和法

①パッキング法

ほぼ同量の粉剤と液剤をガラス練板上、又はダッペンングラス内で練和し、薄めの練和物を作ります。インストルメントを用いて、予めマトリックスバンドをセットした窩洞内に充填します。咬合面をセロファン又は錫箔で覆い、患者に中心咬合位で咬合させ、パターンの硬化を待ちます。硬化後口腔内から外し、形態修正を行います。

〔間接法〕

デュラレー筆積み法は、石膏模型上でも同様に早く、正確にインレーやブリッジを作成できます。分離剤を模型に塗布し、直接法と同様の手法でデュラレーレジンを築盛します。

①マトリックスバンド

M.O.D.インレー、3/4 冠及びフルキャストクラウンのパターン製作には、マトリックスバンドの使用をお薦めします。マトリックスバンドはデュラレーレジン硬化後、簡単に除去できます。パターンの形態修正後、

元の位置に戻し、確認の後コンタクトポイントを付加します。

②ワックスとの併用

デュラレー・ベース又はコアの硬化後、コンタクトポイント又は咬合面にワックスを付加することが出来ます。3/4 冠、フルキャストクラウン、舌側面、咬合面及び辺縁のチェックにもワックスを使用出来ます。

③アンダーカット

窩洞形成時にアンダーカットが存在する場合、硬化したパターンをディスクやバーで除去し、窩洞形態を修正した後、パターンを再度作製します。デュラレーの液は築盛中に蒸発するため、レジン密度のある、正確な収縮のないパターンとなり、破折、剥離、温度変化による変形を生じることなく、形態修正及び埋没が出来ます。

④レジン材料

対合歯がレジン歯やレジン充填処置歯の場合の咬合チェック時、セパレーティング・フォイルが必要です。

⑤上顎歯牙

上顎歯牙にデュラレーを用いる場合は、混和物を形成部位の歯肉寄りの部位から築盛するのが最適です。底部に十分な量の混和物を築盛後、更に築盛を行います。

【使用上の注意】

〔使用注意〕

- ①目に入らないように注意すること。万一目に入った場合は、大量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
- ②品は他のレジン系材料と結合することがありますので使用時には十分注意すること。
- ③本品の硬化物を研磨する際には粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないよう注意すること。
- ④本材を使用する際には、適切な換気（1 時間あたり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
- ⑤液はメタクリル系で可燃性のため、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。瓶が破裂する危険があります。
- ⑥容器の蓋を外したまま放置しないこと。

〔重要な基本的注意〕

- ①本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ②本材に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者はプラスチック手袋、ゴム手袋を使用し、直接素手で触れないこと。又、本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた場合は使用を中止し、医師の診断を受けること。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ①極端に高温又は低温な場所での保管は避け、常温にて保管すること。
- ②直射日光のあたる場所に保管しないこと。瓶が破裂する危険があります。
- ③歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

〔有効期間〕

粉剤及び液剤の容器に記載されているロット番号

(例：041120 の場合は 2020 年 4 月 11 日製造) から 3 年)
[有効期間は自己承認(輸入先製造業者データ)による。]

****【製造販売業者又は製造業者の氏名又は名称】**

製造販売業者：株式会社 茂久田商会

連絡先：<https://www.mokuda.co.jp>

製造業者：リライアンス社／アメリカ
Reliance Dental Mfg.,LLC／USA